



2024年5月15日

各 位

本社所在地 東京都墨田区横網 1-10-5
KOKUGIKAN FRONT BUILDING 3階
会社名 堀田丸正株式会社
代表者 代表取締役社長 平岩 誠
(コード番号 8105 東証スタンダード)
問合せ先 取締役常務執行役員管理本部長 矢部 和秀
(TEL 03-6824-9481)

2024年3月期通期連結業績予想数値と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2023年5月15日公表の2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）通期連結業績予想数値と本日公表の連結実績値につきまして、差異が生じておりますのでお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,700	50	50	39	0.69
今回修正予想(B)	3,693	△190	△130	19	0.35
増減額 (B - A)	△1,007	△240	△180	△20	
増減率 (%)	△21.4	—	—	△51.3	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	3,867	△116	△69	△78	△1.39

(差異が生じた理由)

売上高は、事業の選択と集中の一環として、当社グループのコア事業であるファッション事業ならびにマテリアル事業に経営資源を集中させることを目的とし、2023年6月30日にライフスタイル事業のギフト部門を会社分割、同分割会社の株式を譲渡いたしました。またファッション事業においてPB・ODM品を強化するとともにD2C事業への投資を継続、マテリアル事業においては、海外売上拡大に向けた人財投資、取引先の開拓、燃糸の企画開発等を推進してまいりましたが、暖冬による消費者の購買行動の変化により秋冬物の初動が遅れるとともに企業活動にも影響を及ぼし、ファッション卸事業ならびにマテリアル国内事業において受注が伸び悩む要因となり、売上高が減少いたしました。

経費面では、ギフト事業の売却による経費削減はあったものの、今期の成長戦略である『モノ作りを推進するとともに直販事業を構築』を推進するためE C事業への強化・新規ブランドへの新たな人材投資を行っております。

営業利益においては、売上高の大幅な減少に加え、ギフト事業売却による影響及び資源価格の高騰によ

る原料などの値上げや仕入価格の上昇に加え、円安による輸入商品の高騰の影響を受け売上総利益が減少し、大幅な営業損失を計上する結果となりました。

経常利益においては、貸付による受取利息収入を計上いたしますが、営業損失の影響を受け経常損失となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、2023年6月9日に公表の通りギフト事業の株式譲渡益及び2023年12月15日に公表の通り本社移転に伴う「移転補償金差益」115百万円を計上し、当期純利益については19百万円の結果となりました。

以上